



## いきいきファーマーだより 第82号

平成 28 年 4 月 15 日 益田市農業担い手支援センター発行

益田市ホームページアドレス

<http://www.city.masuda.lg.jp/>

### 1. 行事スケジュール

1. 行事スケジュール
  2. お役立ちなんでも情報
  3. 紹介コーナー
  4. 益田市認定農業者連絡協議会からのお知らせ
  5. 担い手支援センターのメンバーの異動について
- ◇◇雑談コラム◇◇

月 日	イベント名	会場・時間
4月18日(月)	トマト初出荷式	場所：飯田選果場 時間：8:15～
4月19日(火)	認定農業者連絡協議会総会	場所：市民学習センター 時間：17:30～
4月20日(水)	ぶどう出陣式	場所：ぶどう集荷所 時間：8:00～

### 2. お役立ちなんでも情報 ～各地イベント・情報提供～

#### 第7期 益田市「アグリ楽援」スタート

農作業サポーター養成講座であるアグリ楽援が、益田市遠田町にある益市新アグリセンターで3月10日からスタートしました。このアグリ楽援は益田市農業担い手支援センターが、平成18年から取り組んでいるもので、今回が第7期生となります。今期は受講者が参加しやすくするため、施設野菜（メロン、トマト）、ブドウ、カキの3コースに分け受講者を募集した結果、各コースとも4名の受講者が集まりました。

受講者は講義全日程を終了すると、益田市農業サポーターに登録され、雇用労働を必要とする農家に派遣されることとなります。



## 有限会社 アグリみとが美味しまね認証を取得

(有)アグリみとは益田市美都町で水稲、いちご、葉物野菜など多角的な経営をしています。そのうち、生食用として主に関東方面に出荷しているベビーリーフ・チンゲンサイについて平成28年3月に安全な生産工程で生産された農産物等を島根県知事が認証する島根県版GAP「美味しまね認証」を取得しました。

GAP（生産工程管理）という手法は、法令遵守、農場の適正な管理と運営、食の安全、環境保全、労働安全等の観点から計画→実行→チェック→改善（PDCA）を繰り返すことで、「食の安全の確保」、「環境保全型農業の実現」、「農業者・従事者の労働安全の確保」、「適切な販売体制の実現」等の課題を解決するものです。

(有)アグリみとの代表取締役の草野和馬氏は、GAPの取り組みを通じて計画的生産、従事者の意識向上、コスト削減等により経営体制の強化を図ることができると考えておられます。GAPに取り組んだことにより「商品を買っていただくお客様に何かあってはいけなくて生で食べるベビーリーフの安全性が高められて良かった」、「トラブルを未然に防ぎ大きな問題が発生しないようなルールづくりができた」、「手間はかかるがハウスごとの管理記録をつけることにより収穫予定日や単収の把握ができた」、「作業場やハウス周りがきれいになった」などの感想を述べています。

GAPの導入は複数の人が関わる会社組織の農業生産活動の改善と認証取得の他に、作業者の健康やケガからカラダを守る「農作業安全」についても効果を期待されています。

【農場のルール】



【異物混入や微生物汚染対策を施した調整作業】



【出荷袋の美味しまね認証マーク】

## 認定農業者の再認定（更新）の認定申請について ～平成23年度認定の16名が該当します！～

認定農業者には、5年間の認定有効期限があり、更新を希望される方は、申請書（農業改善計画申請書）を提出していただき、再認定のための審査を受けていただきます。

今年度は、平成23年度に認定を受けた方が対象となり、みなし認定を含む全認定農業者122名中16名の方が該当します。再認定を希望される方には申請書（農業改善計画申請書）の作成のために、有効期限の1ヶ月前を目途に聞き取りをさせていただきます。ご多用とは存じますが、聞き取り等へのご協力をお願いします。

※ 申請書の作成のため、該当者の方には、現状の農業所得や労働時間、各作物の作付面積に加え、5年後の作付目標、計画等を伺います。ご準備をお願いします。

※ 再認定を辞退される方につきましても30分程度お時間を頂戴し、近況を伺いたと思います。どうぞよろしくをお願いします。

## 認定農業者経営改善計画聞き取り調査のお願い

認定農業者の方には、5年間の認定有効期限の中間年（3年目）に於いて、状況調査を実施しています。今年度は、平成25年度に認定を受けた10名の方が該当します。

お忙しい時期ですが、30分程度お時間を頂戴し近況を伺いたと思います。どうぞよろしくをお願いします。

## 「食品表示研修会」開催

2月3日、「食品表示研修会」が益田合同庁舎において開催されました。本研修会は、昨年4月に、食品衛生法、JAS法、健康増進法の食品表示に係る規定を一元化した「食品表示法」が施行されたのを受け、旧制度からの変更点等を農業者や農産加工業者に周知するために開催されました。

当日は約80名が参加し、益田保健所食品衛生機動監視課職員を講師に、農産物や農産加工品を販売する上で必要な表示について今一度確認するとともに、新制度により変更となったアレルギー表示や食品添加物表示、表示が義務化される栄養成分表示について説明を受けました。また、経過措置期間が終了するまでに新しい食品表示が行えるよう準備をすること、分からないことがあれば保健所に相談するよう呼び掛けました。



## 平成27年度西部地区肉用牛振興大会を開催

2月24日（水）、益田合同庁舎大会議室において、平成27年度西部地区肉用牛振興大会を開催しました。益田市の田原正太氏には家畜人工授精師協会優良事例発表「安定した繁殖成績は和牛繁殖経営の要」と題して、繁殖成績向上のために日頃心がけていることについて発表して頂きました。



また、近畿中国四国農業研究センターの千田雅之氏には「水田・里山の効果的な利用による肉用牛繁殖経営の収益性向上の可能性と条件」と題して、飼料イネや放牧を中心とした肉用牛繁殖経営の低コスト生産の方策について講演して頂きました。その他、島根県畜産技術センターより県有種雄牛の紹介がありました。当日は生産者、関係機関合わせて62名の参加があり、非常に熱の入った質問が多く投げかけられていました。

## 人・農地プランについて

人・農地プランとは、農家の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など「人と農地の問題」解決に向け、5年後、10年後の地域のあり方について地域で話し合いをして、計画を作って行くものです。34地区プランを作成しており、年に1回はプランを見直すこととしております。

プランに担い手として名前が載ることで、活用できる支援があります。スーパーL資金の金利負担軽減措置、経営体育成支援事業など、また、農地集積に対する支援として農地中間管理事業などがあります。

すでにプランに掲載されている方につきましては、地域の担い手として御協力をいただきありがとうございます。また、プランに登録されていない認定農業者の方にも地域の担い手として登録をお願いしたいと思います。もし、プランを確認したい方は、地区振興センターへ配布してありますのでご確認下さい。掲載についてのご相談については、農業振興課担い手支援センターへご連絡下さい。

地域で開催される話し合いには是非とも参加をお願いいたします。

### 3. 紹介コーナー

#### いきいきファーマーズ ～新規就農者紹介④～

名 前： 尾木 涼太

年 齢： 21歳

営農類型： 施設野菜＋水稻

営農場所： 本俣賀



益田で農業を始めたきっかけは？

小さい頃から農業に触れる機会が多く、農業に魅力を感じたから。

将来の夢は？

幸せな家庭を築くことです。(笑)

趣味は？

アニメ、マンガ、ゲーム、野球、サッカー、カラオケ等

今後の意気込みを一言！

良いものを作って、しっかりと売りたいです。



#### 4. 益田市認定農業者連絡協議会からのお知らせ

##### 認定農業者連絡協議会総会を開催します

平成28年度益田市認定農業者連絡協議会通常総会を下記のとおり開催します。ぜひ多くの会員の皆様にご出席いただき、活発なご意見をいただければと思います。尚、やむを得ず総会を欠席される方は、FAXまたは郵送にて委任状（別紙）を提出してください。

日時：平成28年4月19日(火) 17：30～

場所：益田市立市民学習センター 多目的ホール（1F）

※お車でお越しの方は、市民学習センター駐車場をご利用ください。

※総会終了後、懇親会を予定しております。多数の方のご参加をお待ちしております。

場所：ちるちるみちる駅前店 [19：00～] 会費：3,000円

##### 益田市・鹿足郡認定農業者合同研修会を開催しました

平成28年1月28日、益田市認定農業者連絡協議会の主催による講演会が益田市役所で開催され、有限会社木之内農園の木之内均代表取締役会長を講師に招き、「激動時代を生き残る農業戦略」と題して講演をしていただきました。

講演の中では、木之内氏が設立した3つの法人の設立目的、経営タイプの違いを例として紹介しながら、戦略としての農業経営の型の違いを解説されました。

続けてほとんどの農業参入企業が赤字のなか、なぜ企業参入が続くのか、採算が取れるようになった時に企業と対等に連携ができるようになるためには農業界は何をすべきかという提言のほか、農産物生産に留まらない「農の価値」を提示され、農業界の将来像を描いておられました。

この講演会には約30名の農業者が集まり、熱心に聞き入っていました。



## 5. 担い手支援センターメンバーの異動について

### ○転出

・西部農林振興センター益田事務所 農業普及部 益田北地域振興課 専門農業普及員 小林 隆

・西部農林振興センター益田事務所 農業普及部 益田南地域振興課 農業普及員 岩谷 洋美

・益田市 産業経済部 農業振興課 農業担い手支援センター 副主任主事 高浦絵理

平成24年4月から4年間、農家の皆さまと関わらせていただき、農業について学ばせていただきました。今まで大変お世話になり、ありがとうございました。

### ○新任

・西部農林振興センター益田事務所 農業普及部 益田南地域振興 主任農業普及員 大野 愛理

4月の人事異動で小林専門農業普及員の後任で参りました大野です。野菜と新規就農の 担当になりましたのでよろしくお願いします。

・西部農林振興センター益田事務所 益田北地域振興課 技師 永井 智子

平成28年新規採用で益田事務所に配属になりました永井です。農業普及部では果樹の担当になりました。不慣れなところも多いと思いますが、頑張りますのでよろしくお願いします。

・益田市 産業経済部 農業振興課 農業担い手支援センター 主任主事 嶋崎 雅春

平成27年4月1日付の人事異動で匹見総合支所地域づくり推進課から農業振興課担い手支援センターに配属されました嶋崎です。中山間地域直接支払などを担当することとなりましたので、よろしくお願いします。

### ◇◇雑談コラム◇◇

4月は異動シーズンで、これまでお世話になった方とのお別れと新たにお世話になる方との出会いの時期ですね。寂しくなるなという反面、これから新しい方と共にごんばらなくてはという思いで一杯です。これまでの取組が、メンバーが替わったことで停滞することがないようにしっかり頑張っていきたいと思っています。今後とも担い手支援センターへのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。(K, T)